

100年の技術と信頼を明日へ



2020年度 決算説明会

2021年5月28日

広栄化学株式会社
代表取締役社長 西本麗

目次

100年の技術と信頼を明日へ



◆ 1.	会社概要	1
◆ 2.	2020年度トピックス	7
◆ 3.	2020年度決算概要	12
◆ 4.	中期経営計画進捗	19
◆ 5.	2021年度業績見通し	22
◆ 6.	事業成長戦略	27
◆ 7.	サステナビリティ推進	35
◆ 8.	ガバナンス強化	38
◆ 9.	配当政策	41

目次

◆ 1.	会社概要	1
2.	2020年度トピックス	7
3.	2020年度決算概要	12
4.	中期経営計画進捗	19
5.	2021年度業績見通し	22
6.	事業成長戦略	27
7.	サステナビリティ推進	35
8.	ガバナンス強化	38
9.	配当政策	41

1. 会社概要

(1) 会社概要

①設立 1917年6月17日

②資本金 2,343百万円

③社員数 397名 (2021年3月末)

④事業所

東京本社：
東京都中央区日本橋小網町1番8号

千葉工場・千葉研究所：
千葉県袖ヶ浦市北袖25番地

ベルギー：
駐在員 (住友化学ヨーロッパ出向)

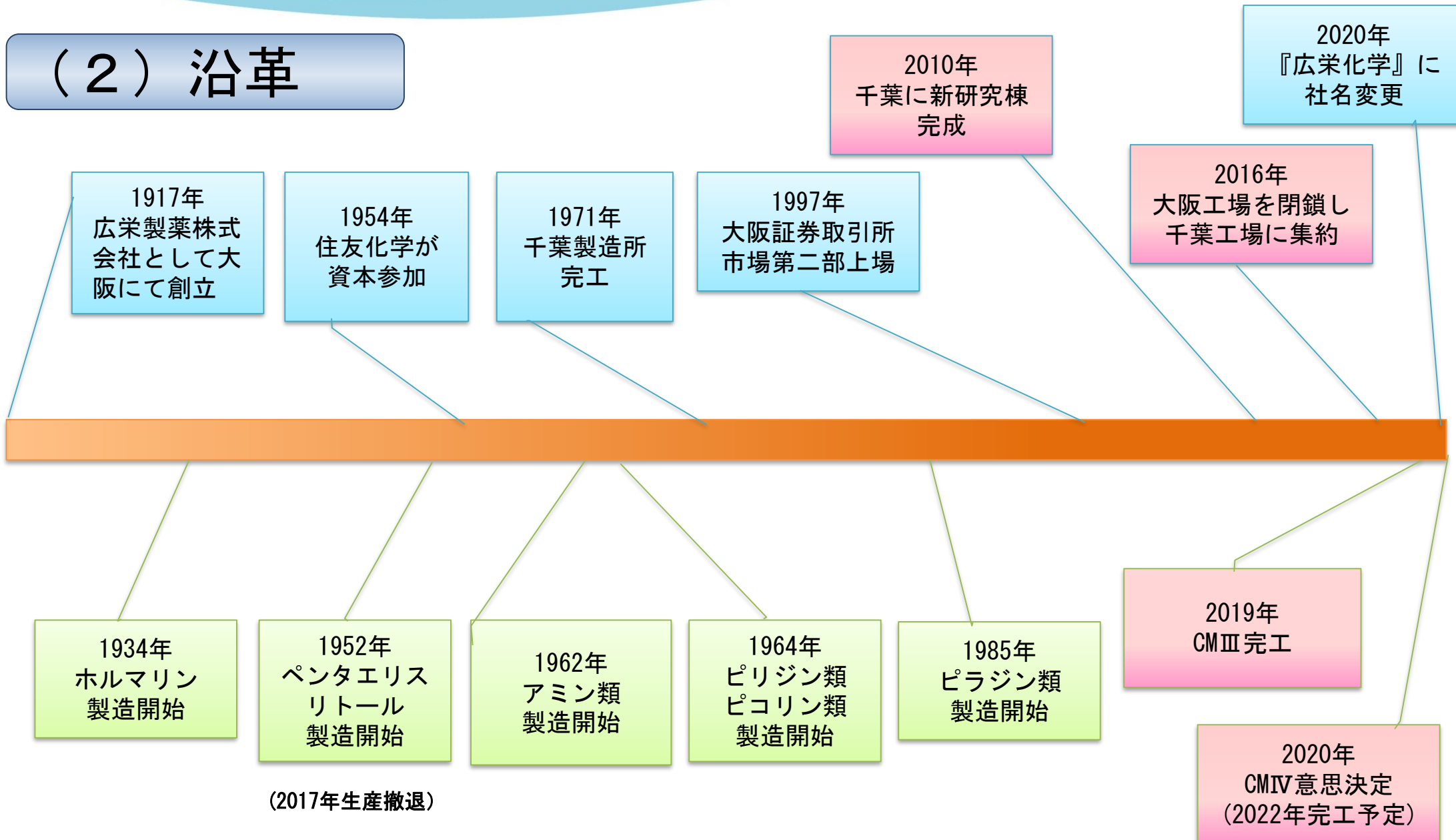


千葉工場・千葉研究所



1. 会社概要

(2) 沿革



1. 会社概要

(3) 事業内容 ① 基幹製品

広栄化学は、含窒素化合物のパイオニアです

ピリジン類

主な用途

医薬原料・農薬原料
電材関連・溶剤等

国内唯一の合成
ピリジンメーカー



ピラジン類

主な用途

結核薬ピラジナミド

ピラジナミド原料CPZは、
世界シェアNo. 1



アミン類

主な用途

界面活性剤・樹脂
塗料・潤滑油
ゴム薬等

数十種類の特殊アミン製造
少量多品種対応



ホルマリン

主な用途

接着剤・塗料・樹脂・
酸化防止剤等

多価アルコール類

主な用途

建造物・自動車用塗料
インキ・コーティング
接着剤・潤滑油等

1. 会社概要

(3) 事業内容 ②カスタム合成製品

医農薬中間体

培ってきた含窒素化合物の合成技術を生かし、独自工業化プロセスを開発

国内外多数の製薬会社に
医薬中間体を供給

有機金属触媒

ポリオレフィン用重合触媒であるメタロセン触媒に代表される有機金属触媒を製造

有機合成技術と禁水・禁酸素条件を組み合わせるプロセスを構築

その他受託製品

電子材料関連製品等

(3) 事業内容 ③機能性製品

イオン液体

主な用途

帯電防止剤・電解液
溶媒等



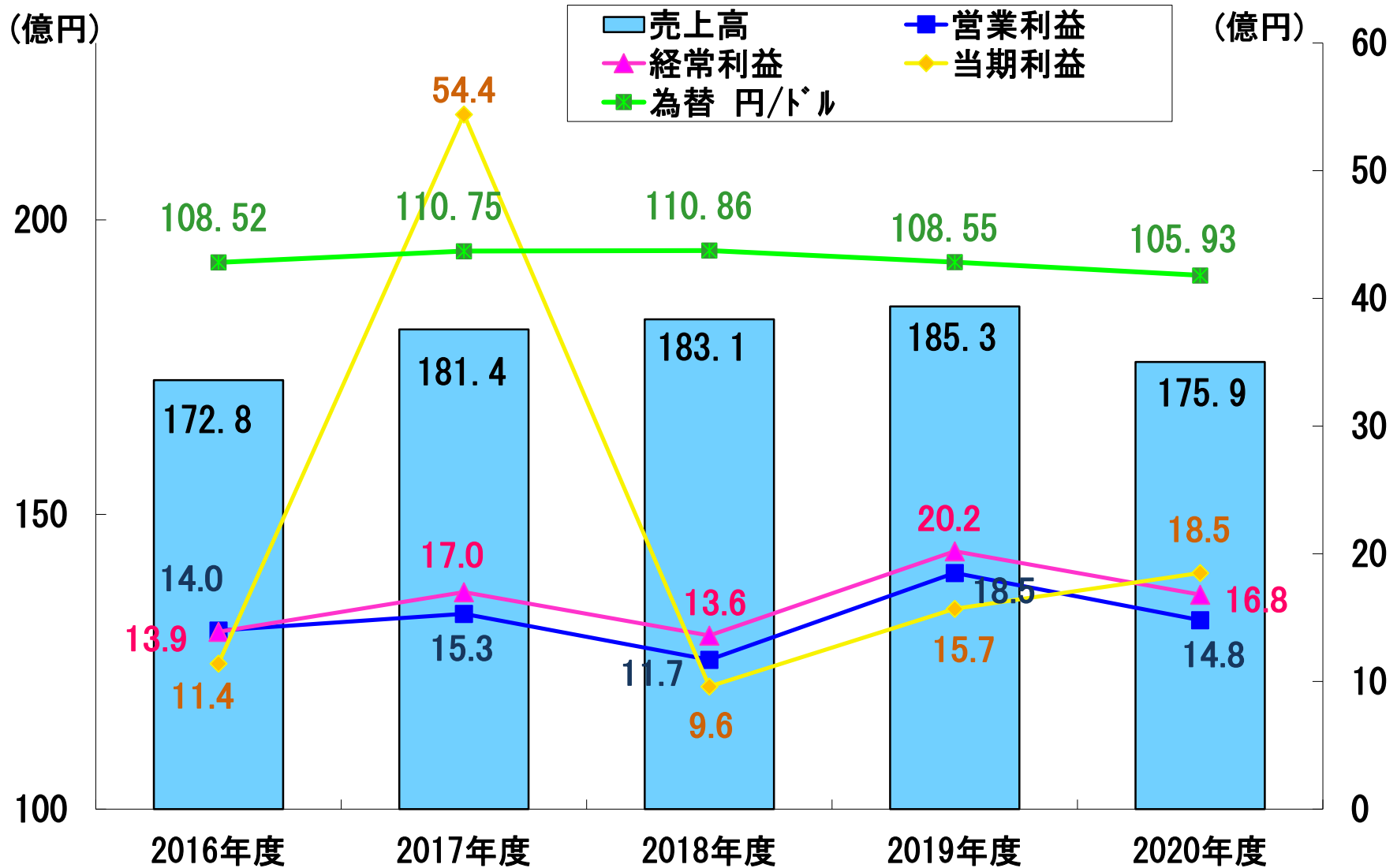
ウレタン関連製品

URECKO®
KONPUS®

カスタム合成製品・機能性製品は、主にマルチプラント（CMI、CMIⅡ、CMIⅢ）で生産
2022年度には、新たにマルチプラント4系列目（**CMIⅣ**）が完工。

1. 会社概要

(4) 業績及び為替【推移】



目次

1.	会社概要	1
◆ 2.	2020年度トピックス	7
3.	2020年度決算概要	12
4.	中期経営計画進捗	19
5.	2021年度業績見通し	22
6.	事業成長戦略	27
7.	サステナビリティ推進	35
8.	ガバナンス強化	38
9.	配当政策	41

2. 2020年度トピックス

(1) CMIV設備投資意思決定

● 背景

成長事業と位置付けている受託合成事業の需要拡大及び開発に注力している次世代製品(ウレタン関連製品)の生産対応として86億円を投じて建設することを2020年5月14日に意思決定しました。

CMプラント群の設備概要

	既存プラント			新プラント
	CM I	CM II	CM III	CM IV
面積・大きさ	1,900m ² 6階層	3,100m ² 4-6階層	2,800m ² 6階層	4,700m ² 7階層
反応器	11 (1-5m ³)	15 (7-10m ³)	8 (3~10m ³)	10 (10m ³ , 20m ³ *1基)
ろ過機 (ろ過乾燥機含む)	6	6	6	4
生産数量範囲	10kg~数トン	数トン~100トン	100kg~100トン	数トン~100トン

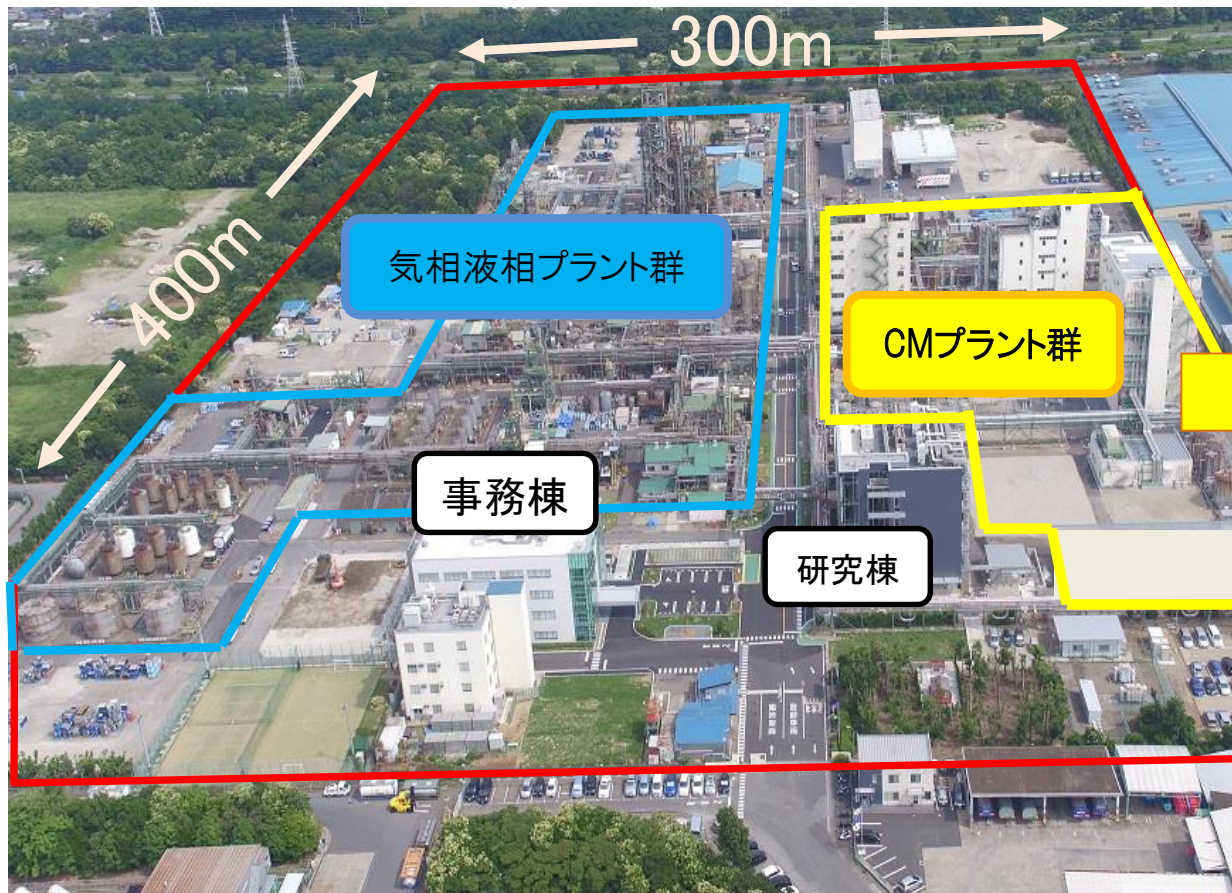
● 工事進捗

2021年3月に現地工事を着工し、計画通り2022年9月操業スタートを目指す。

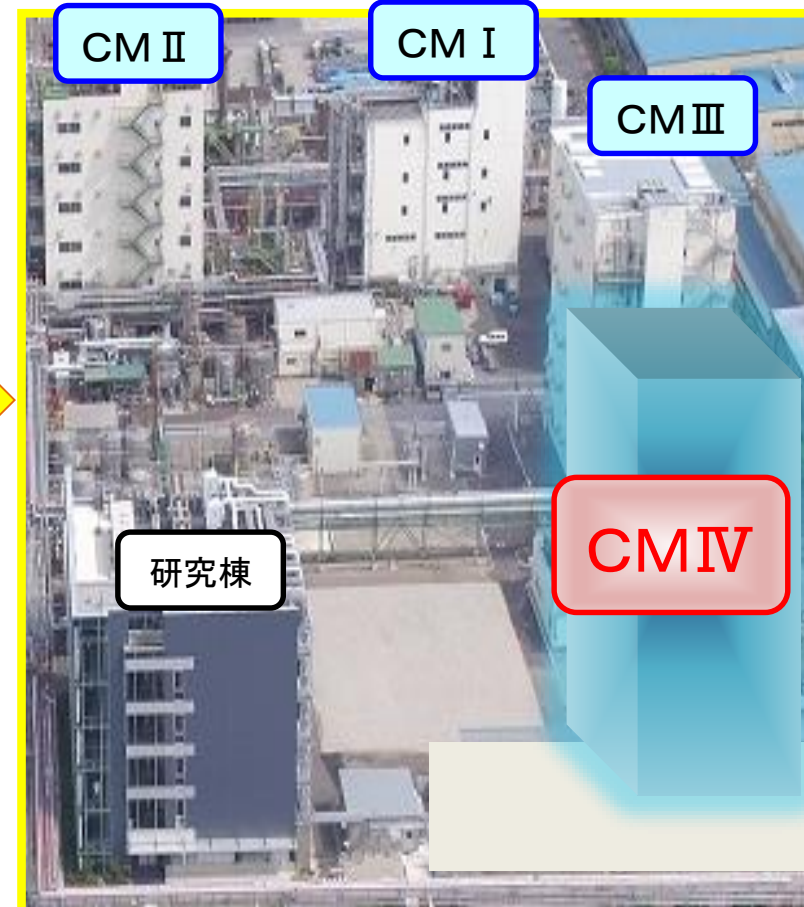
2. 2020年度トピックス

(1) CMIV設備投資 - 【CMIVプラント配置図】

千葉工場全体配置図



CMプラント群の配置図



敷地面積: 12万m²

2. 2020年度トピックス

(2) コロナウイルス感染症治療薬原材料供給

- 供給体制を整備
- 迅速かつ安定的供給を図る



ピロール

(レムデシビル製造用原材料)

ピリジン

(アビガン製造用原材料)

新型コロナウイルス沈静化に向け社会的責務を果たす

2. 2020年度トピックス

(3) 社名変更

2020年10月 社名を『広栄化学工業』から『広栄化学』に変更



化学を礎に、化学工業の枠を超えて、さらに飛躍

目次

1.	会社概要	1
2.	2020年度トピックス	7
◆ 3.	2020年度決算概要	12
4.	中期経営計画進捗	19
5.	2021年度業績見通し	22
6.	事業成長戦略	27
7.	サステナビリティ推進	35
8.	ガバナンス強化	38
9.	配当政策	41

3. 2020年度決算概要

(1) 2020年度決算ハイライト

(単位：百万円)

	2020年度 実績	2019年度 実績	増減 (前期比)	2020年度 (公表値)	2020年度 (中期計画)
売上高	17,589	18,528	△939	18,000	20,700
営業利益	1,484	1,854	△370	1,500	1,300
経常利益	1,678	2,016	△338	1,600	
当期純利益	1,851	1,568	283	1,700	
1株当たり利益(円)	378.51	320.60	57.91		
1株当たり配当金(円)	100.00	80.00	20.00		

3. 2020年度決算概要

(2) 売上高 … ① 部門別【前期比】

(単位:百万円)

	2020年度 実績	2019年度 実績	増 減	増減の主な内訳
医農薬化学品	6,784	6,507	276	ピロール・ピリジン (↑) 抗凝固薬中間体 (↑) 除草剤原料 (↓)
機能性化学品	6,766	6,808	△42	光学材料関連 (↓) 触媒関連製品 (↑) イオン液体 (↑)
その他	4,038	5,212	△1,173	多価アルコール類 (↓) カラーフォーマ原料 (↓)
合 計	17,589	18,528	△939	(数量差△755、売価差△184)

3. 2020年度決算概要

(2) 売上高 … ② 輸出地域別【前期比】

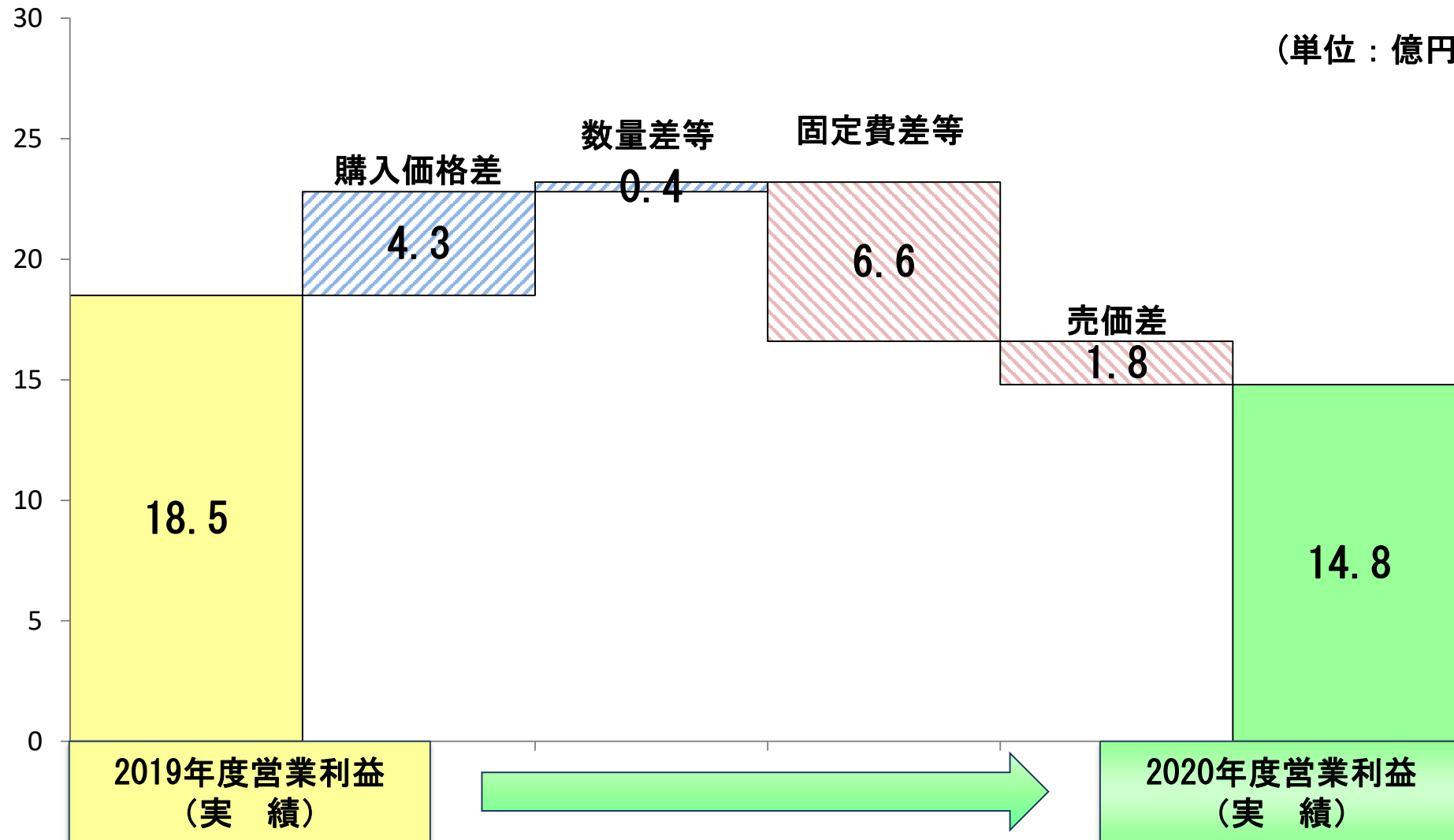
(単位：百万円)

	2020年度 実績	2019年度 実績	増 減	増減の主な内訳
ア ジ ア	4,618	4,055	563	除草剤原料 (↑) ピロール (↑)
北 米	1,376	2,100	△723	除草剤原料 (↓)
欧 州	2,493	1,953	539	抗凝固薬中間体 (↑) ピロール (↑)
そ の 他	6	16	△10	
輸 出 合 計	8,494	8,125	+368	
為替レート (円/米ドル)	(105.93)	(108.55)	△2.62	(円高によるマックス影響△81)
輸出売上比率	48.3%	43.9%	4.4%	

3. 2020年度決算概要

(3) 営業利益分析【前期比】

(単位：億円)



3. 2020年度決算概要

(4) 貸借対照表【前期比】

(単位：億円)

借方科目	前期末 (2020年3月末)	当期末 (2021年3月末)	増減	貸方科目	前期末 (2020年3月末)	当期末 (2021年3月末)	増減
[資産の部]	298.0	320.6	22.6	[負債の部]	88.0	99.9	11.9
流動資産	137.7	129.4	△8.3	流動負債	60.8	54.4	△6.4
固定資産	160.3	191.2	30.9	固定負債	27.2	45.5	18.3
				[純資産の部]	210.0	220.7	10.7
合計	298.0	320.6	22.6	合計	298.0	320.6	22.6

● 主な増減要因（資産）

- ・ 流動資産（△ 8.3億円）
 売掛金 △ 7億円
- ・ 固定資産（+30.9億円）
 CMIV設備投資 +24億円
 アミノ[®]ラクト再構築 +11億円
 塩野義製薬株式売却△ 8億円

● 主な増減要因（負債及び純資産）

- ・ 流動負債（△ 6.4億円）
 買掛金 △ 5億円
- ・ 固定負債（+18.3億円）
 長期借入金 +20億円
- ・ 純資産（+10.7億円）
 当期純利益 +19億円
 配当金支払 △ 4億円

3. 2020年度決算概要

(5) キャッシュ・フロー【推移】

(単位：億円)

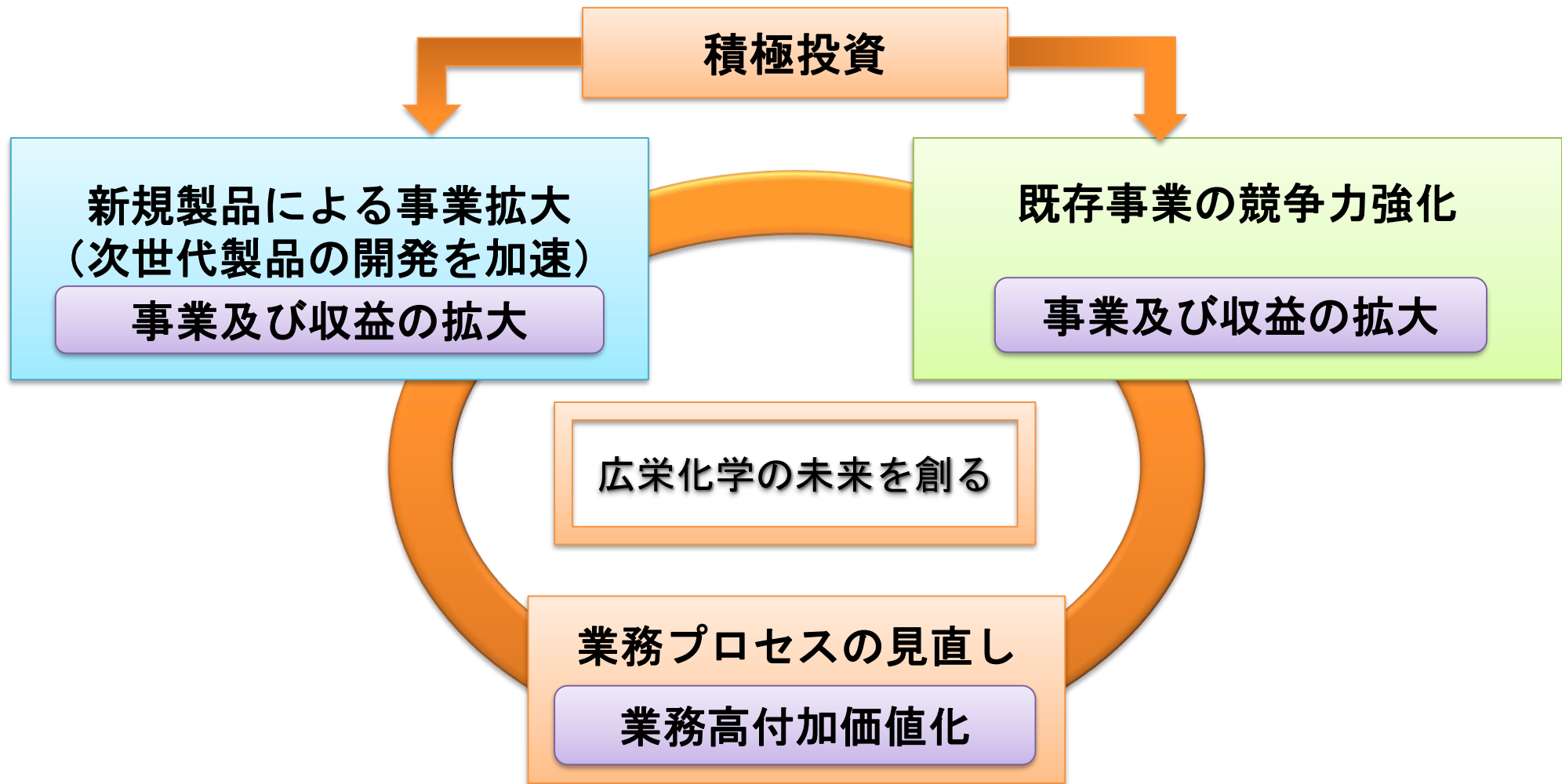
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
営業キャッシュ・フロー	13.4	9.8	7.3	7.8	19.2
投資キャッシュ・フロー	△17.8	41.5	△24.6	△22.3	△39.1
フリー・キャッシュ・フロー	△4.4	51.3	△17.3	△14.5	△19.9
財務キャッシュ・フロー	4.9	△14.6	△3.0	△2.8	15.6
現金等物増減	0.6	36.5	△20.4	△17.4	△4.3
期末現預金残高	8.1	44.6	24.2	6.9	2.6
期末借入金残高	18.4	8.3	8.3	8.5	28.5

目次

1.	会社概要	1
2.	2020年度トピックス	7
3.	2020年度決算概要	12
◆ 4.	中期経営計画進捗	19
5.	2021年度業績見通し	22
6.	事業成長戦略	27
7.	サステナビリティ推進	35
8.	ガバナンス強化	38
9.	配当政策	41

4. 中期経営計画進捗

(1) 2019-2021年度中期経営計画 全社方針



土台 安全・安定操業を確保、コンプライアンス遵守、人的資源の確保

4. 中期経営計画進捗

(2) 中期経営計画進捗サマリー

	用途	状況	進捗概要
新製品開発の加速	次世代製品	△	ウルタン触媒については、積極的な用途開発及び特許出願を実施中、顧客評価遅れ
	医薬中間体	◎	(1) 海外向け大型案件 2022年度へ販売ずれとなったが、受注済みで2021年度下期から生産開始 (2) 国内向け新規案件 2020年度に試作、2021年度以降商用生産予定
	メタセン触媒	◎	海外ユーザー向けに新規参入成功
	気相製品開発		2020年に新たにテーマ設定
既存事業強化	電材	△～○	コンデンサー用好調、ハイグレード半導体用は伸び悩むも今後の需要増に期待
	光学材料	△	競争激化により需要伸び悩むも新用途開発に注力
	医薬中間体	○	結核薬・その他医薬中間体等需要堅調
	農薬中間体	△～○	(1) 中国ユーザー向け農薬中間体 販売数量減及びコスト競争激化 (2) 北米ユーザー向け農薬中間体 最終製品登録に時間を要したが、今後の需要増に期待
設備投資計画		○	(1) CMIV新設進捗 2021年3月工事着工、2022年9月操業(計画通り) (2) 工場再構築 継続中(全体計画見直し)
業務プロセス見直し		○	DX戦略の推進による業務の高付加価値化を推進中

目次

1.	会社概要	1
2.	2020年度トピックス	7
3.	2020年度決算概要	12
4.	中期経営計画進捗	19
◆ 5.	2021年度業績見通し	22
6.	事業成長戦略	27
7.	サステナビリティ推進	35
8.	ガバナンス強化	38
9.	配当政策	41

5. 2021年度業績見通し

(1) 前提条件

● 為替前提

- ¥105.00 / \$
- ¥125.00 / €

● 原料価格前提

- 国産ナフサ価格 ¥35,000 / kl
- メタノール価格 \$300.00 / ton

● 定期修繕 (千葉工場)

- 年2回 (約3～4カ月間生産ストップ)
(2021年5～6月、2022年2～3月)

5. 2021年度業績見通し

100年の技術と信頼を明日へ



(2) 2021年度業績見通し【概要】

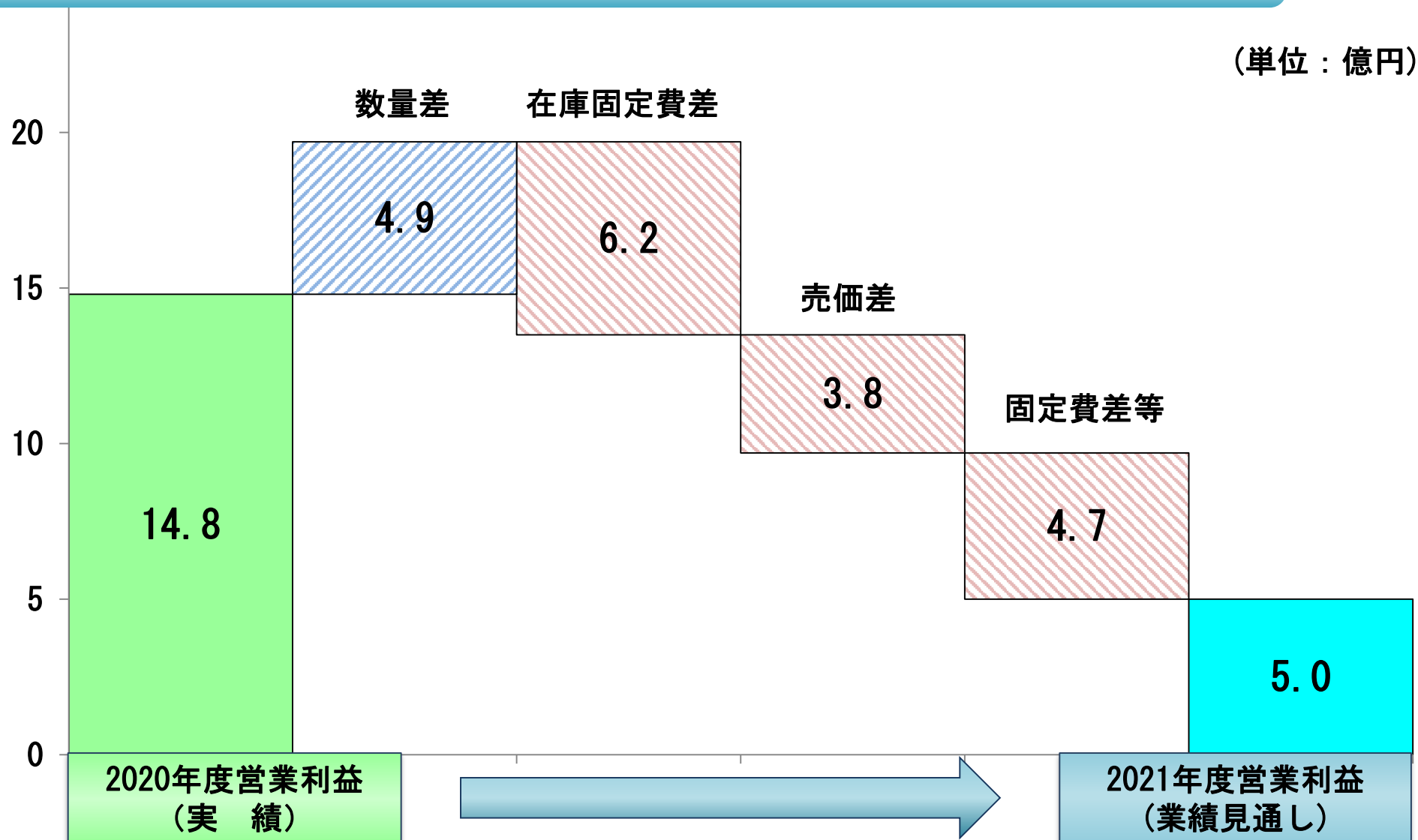
(単位：百万円)

	2021年度 業績見通し	2020年度 実績	増減 (前期比)	2021年度 中期計画
売上高	16,500	17,589	(※) △1,089	20,000
営業利益	500	1,484	△984	2,000
経常利益	650	1,678	△1,028	
当期純利益	900	1,851	△951	
1株当たり配当金(円)	100.00	100.00	—	

(※) 2021年度より会計基準（収益認識）の変更により、多価アルコール類のリセール売上高がコミッション部分のみの計上となる。

5. 2021年度業績見通し

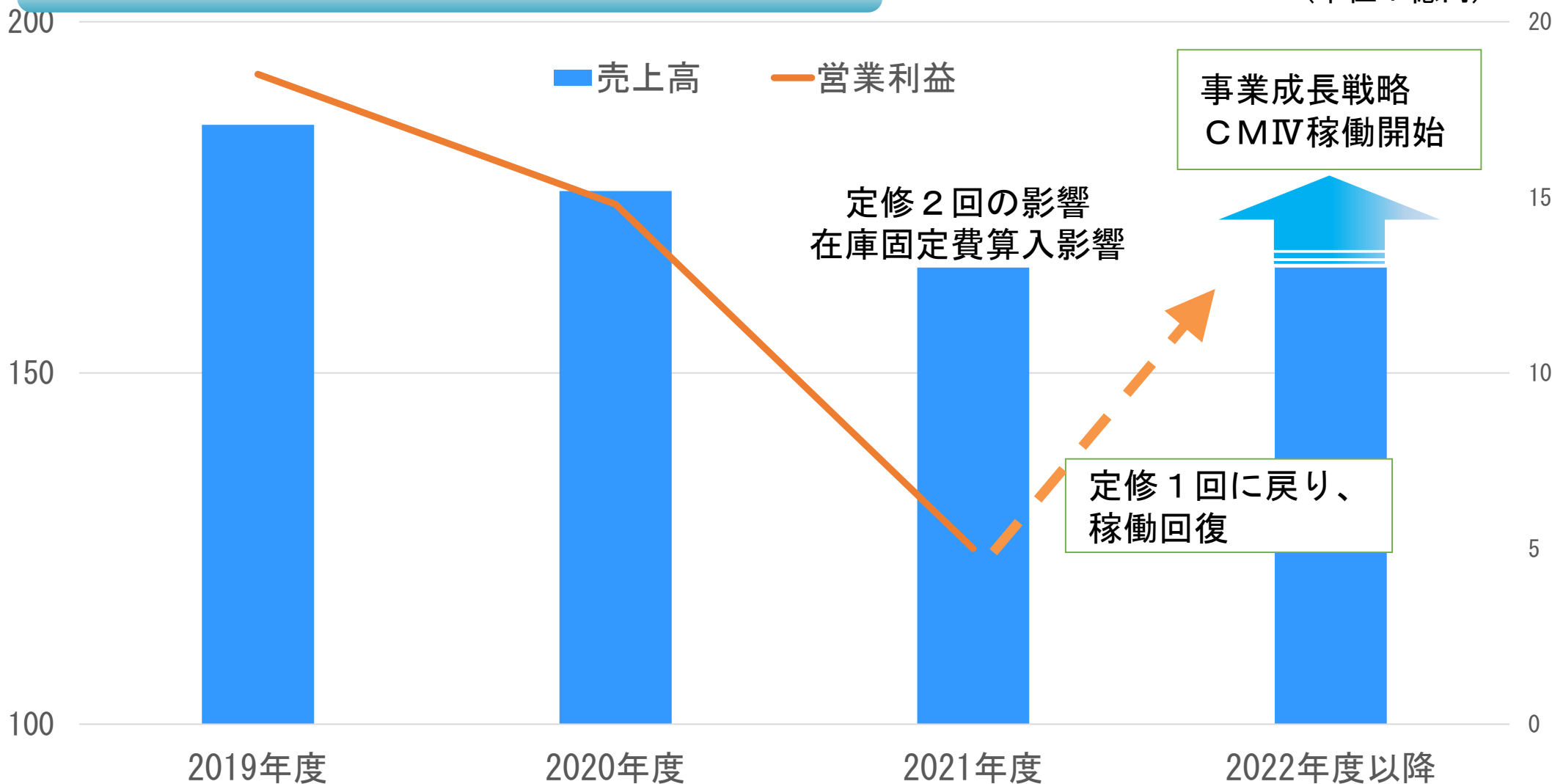
(3) 2021年度営業利益分析(前期比)



5. 2021年度業績見通し

(4) 今後の見通しについて

(単位：億円)



目次

1.	会社概要	1
2.	2020年度トピックス	7
3.	2020年度決算概要	12
4.	中期経営計画進捗	19
5.	2021年度業績見通し	22
◆ 6.	事業成長戦略	27
7.	サステナビリティ推進	35
8.	ガバナンス強化	38
9.	配当政策	41

6. 事業成長戦略

(1) 広栄化学成長戦略

基盤事業の再構築による
競争力強化

新規事業拡大

積極投資

○基盤事業の高付加価値化

- ・アミン・ピリジンの新用途開発
- ・抜本合理化による競争力強化
- ・事業提携

○自前技術に基づく新規事業開拓

- ・ウレタン樹脂低温硬化触媒
- ・イオン液体用途拡大

○受託事業の積極的展開

- ・メタロセン触媒等触媒関連事業
- ・医農薬中間体
- ・住友化学グループとの連携強化

6. 事業成長戦略

(1) 広栄化学成長戦略

再構築

新設

中期経営計画 設備投資額：150億円

既存プラント = 基盤事業の再構築

売上規模（既存プラント）
100億円

アミンプラント

ピリジンプラント

ホルマリンプラント
・
ユーティリティー

マルチプラント（CM系列）増強 = 成長事業拡大

売上規模（CM I + II + III + IV）
50～60億円 → 110億円

CM I
1-5m³系列

CM II
10m³系列

CM III
10m³ + 3-5m³
系列

CM IV
10m³系列

Transformation KOEL

6. 事業成長戦略

(2) 研究開発 … ① 研究開発強化

● 人員増強・育成

総人員 : 2017年度 53名  14名 増員 2021年度 67名

新卒採用 : 2020年4月 10名、21年 8名、22年 5名 (計画)

● 研究マネジメントの強化

ステージゲート管理の導入

重点テーマへの資源配分強化

● デジタル化の更なる加速・深化

電子実験ノートと各種機器との接続

薬品管理システム導入 (2021年4月)

蓄積されたデータの電子化と有効活用

6. 事業成長戦略

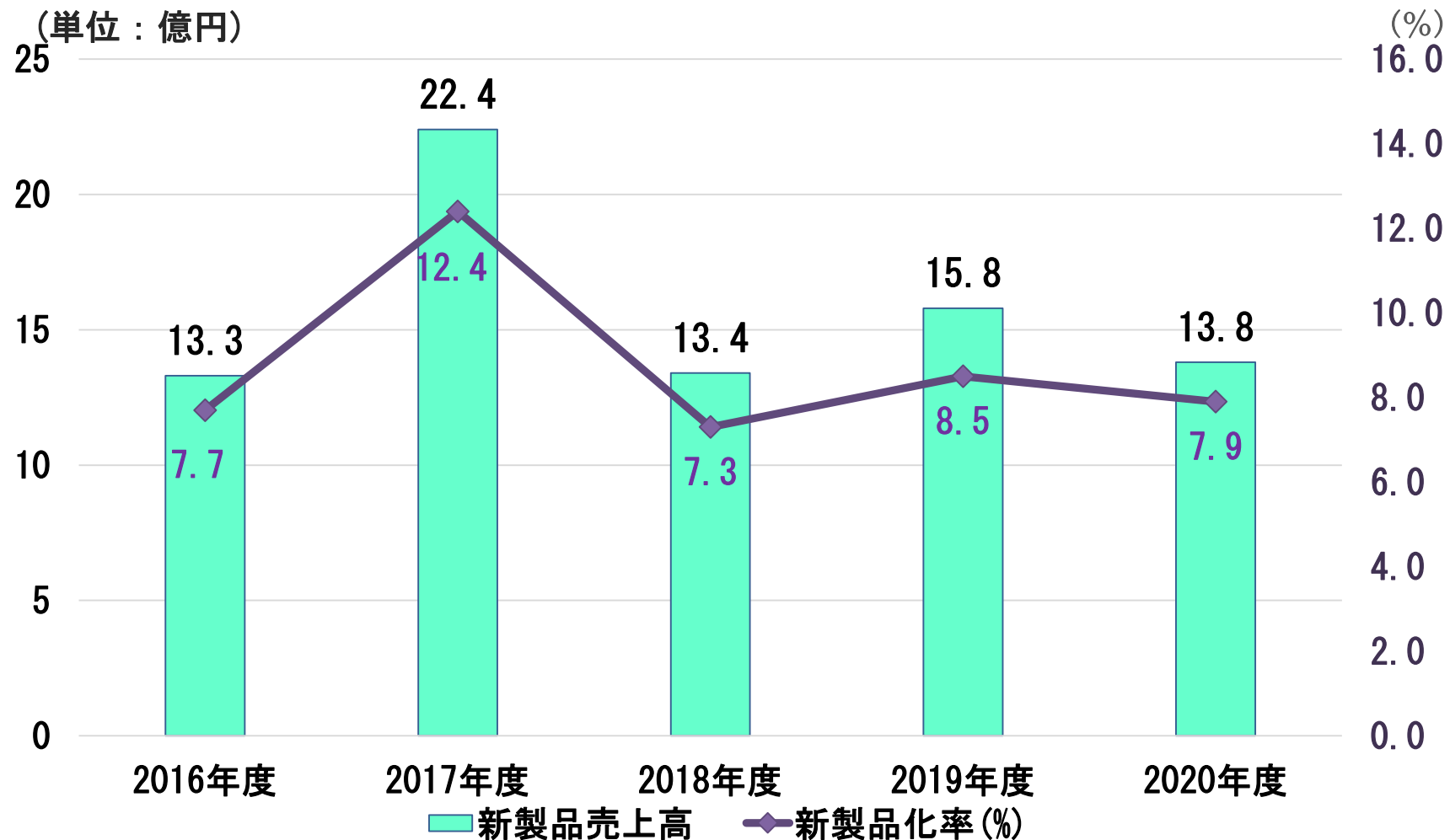
(2) 研究開発 … ② 研究開発状況

機能性製品	ウレタン関連	低温硬化システムの実用化 ⇒ユーザー毎、課題毎の改善を進め、事業化を目指す
	アミン製品	新規アミノ化技術の開発 ⇒大学との共同研究も進行中
		既存アミン製品合理化
受託合成	触媒関連	有機金属触媒等 新規顧客・新製品拡大 ⇒大型新製品本格生産
	医薬中間体	大型医薬中間体競争力強化及び新規受託拡大 ⇒合理化及び住友化学とのシナジーテーマ進行中
気相製品	既存製品	合理化推進、触媒安定調達 ⇒主力製品合理化進行中
	新製品開発	新製品導入と継続的な探索 ⇒上期中に新製品導入判断、営業と協力し新製品探索継続

6. 事業成長戦略

(2) 研究開発 … ③ 新製品売上高【推移】

※上市後5年以内の製品を対象とする



6. 事業成長戦略

(3) 住友化学グループとのシナジー追求

住友化学グループ



広栄化学

① 既存受託製品の拡大

石油化学部門、情報電子化学部門

② 新たな受託製品の追求

石油化学部門、エネルギー・機能材料部門、
情報電子化学部門、健康・農業関連事業部門

CMプラント群の高度利用

③ その他

- ・ CO₂削減
- ・ 研究交流
- ・ 原料調達

住友化学（千葉工場）新設設備からの電力及び蒸気供給による連携事業
新たな用途開発の可能性を追求
住友化学グループのネットワークによる調達業務の効率化

住友化学グループ各社との連携を強化し、一層の経営効率を高める

6. 事業成長戦略

(4) 経営効率の一層の向上

- 業務プロセス見直しプロジェクトの深化・加速
 - 製造・研究開発・SCM・オフィスのDXプロジェクト加速
 - 効率的な生産、在庫管理の強化
- PLのみでなくBSの効率化も加味した経営指標の導入
 - 投下資本利益率の向上（WACC超の8%目標）
 - Cash Conversion Cycleの短縮（100日未満目標）
- 人材育成の加速

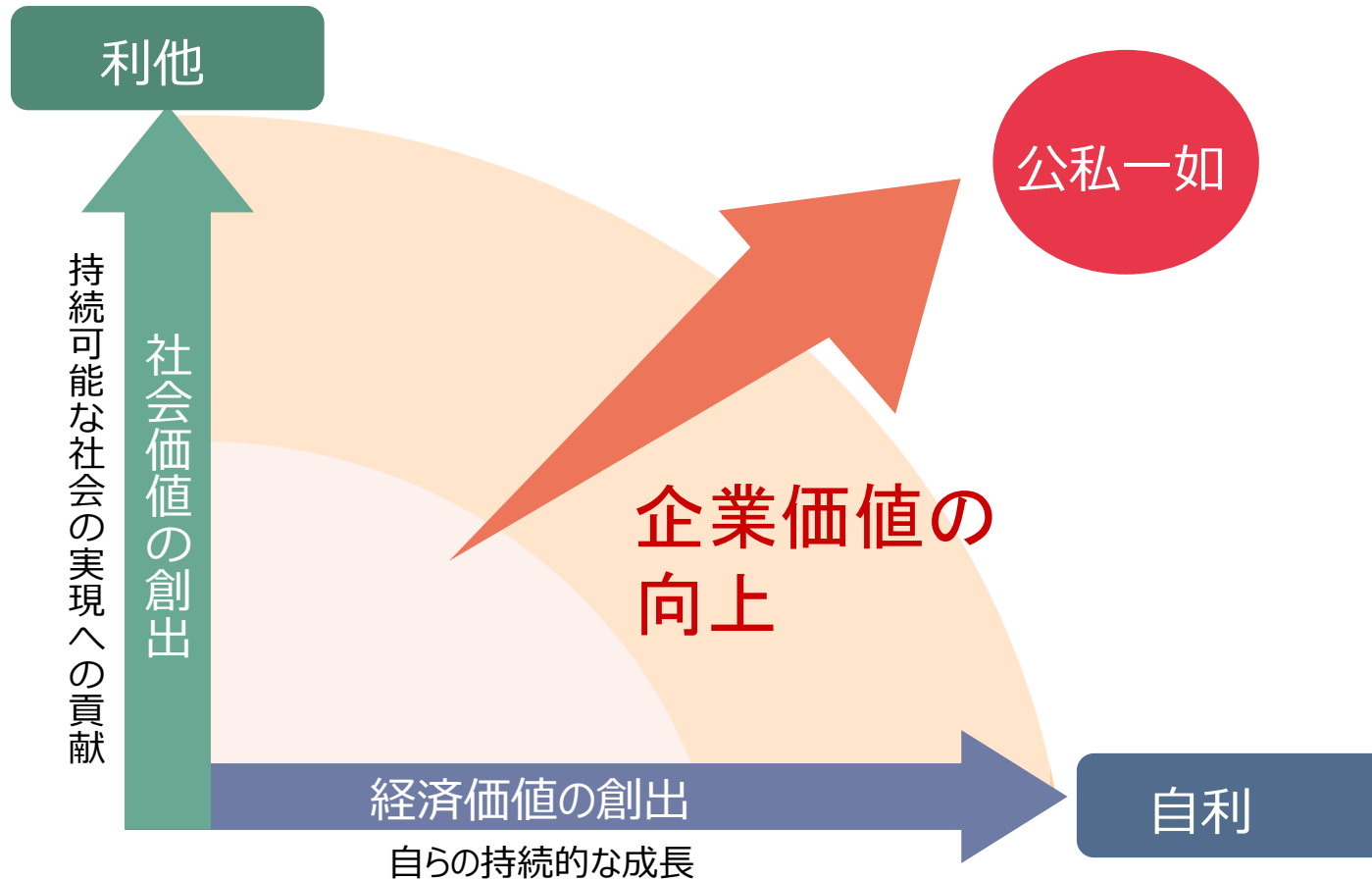
目次

1.	会社概要	1
2.	2020年度トピックス	7
3.	2020年度決算概要	12
4.	中期経営計画進捗	19
5.	2021年度業績見通し	22
6.	事業成長戦略	27
◆ 7.	サステナビリティ推進	35
8.	ガバナンス強化	38
9.	配当政策	41

7. サステナビリティ推進

目指す姿

経済価値・社会価値を一体的に創出し、住友化学グループの持続的な成長とサステナブルな社会を実現



住友化学グループとして、これまでも事業を通じて、持続可能な社会への実現に貢献するとともに、自らの持続的な成長を続けてきた。

7. サステナビリティ推進

事業を通じた持続可能な社会への貢献

医薬中間体の開発・受託製造及び結核薬の中間体、新型コロナウイルス感染症治療薬原料の供給を通して、世界の人々の健康に貢献します。



農薬中間体・原料の供給を通して食料増産、農産物生産性向上に貢献します。

高効率ガスタービンの導入（住友化学と連携）、エネルギー原単位の削減、CO2吸収材であるアミンの開発を通して、気候変動の課題に貢献します。



女性活躍のための施策を実施し、女性も男性も生き生きと働ける職場環境を作ります。

製造プロセスの改善による廃棄物の削減を図り、環境への負荷を低減します。



偏向フィルム向け原料や高純度製品の供給、技術開発を通して、ICT技術革新に貢献します。

2021年度、当社はKPI (Key Performance Indicator) を設定し、持続可能な開発目標への貢献を更に加速します。

目次

1.	会社概要	1
2.	2020年度トピックス	7
3.	2020年度決算概要	12
4.	中期経営計画進捗	19
5.	2021年度業績見通し	22
6.	事業成長戦略	27
7.	サステナビリティ推進	35
◆ 8.	ガバナンス強化	38
9.	配当政策	41

8. ガバナンス強化

(1) 執行役員制度の導入

当社は、2021年6月25日株主総会後に執行役員制度を導入します。

目的

経営の意思決定の迅速化及び監督機能と業務執行機能を分離し、職務責任の明確化を図るとともに、業務執行の機動性を高めるため

導入後の体制

取締役会のスリム化

取締役 現行 12名（内、社外取締役3名）



導入後 9名（内、社外取締役3名）

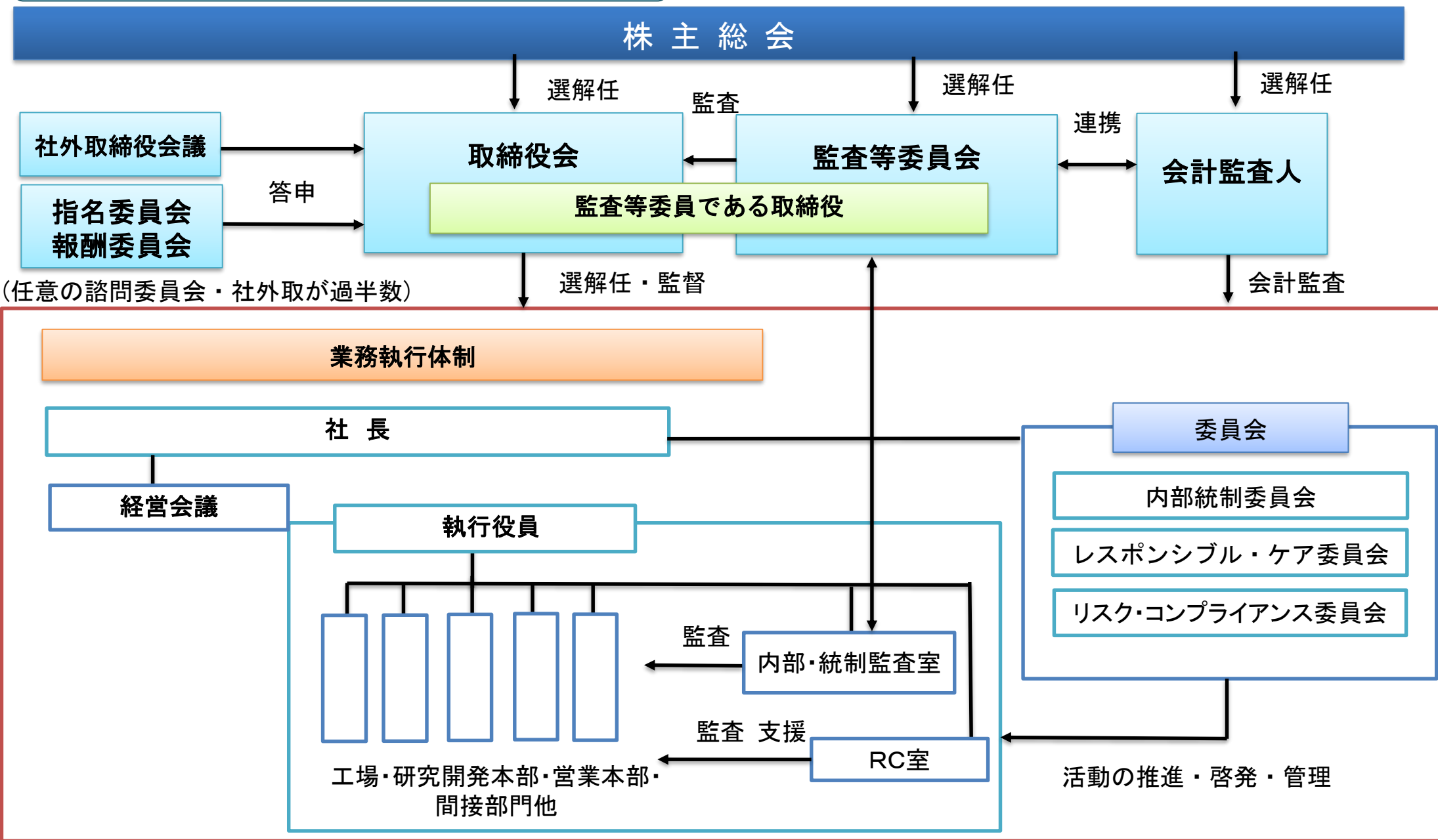
内、女性取締役
1名

社外取締役経験分野

- ①企業経営者としての実績
- ②税理士としての実績、行政機関要職の経験
- ③弁護士としての実績

8 . ガバナンス強化

(2) ガバナンス体制



目次

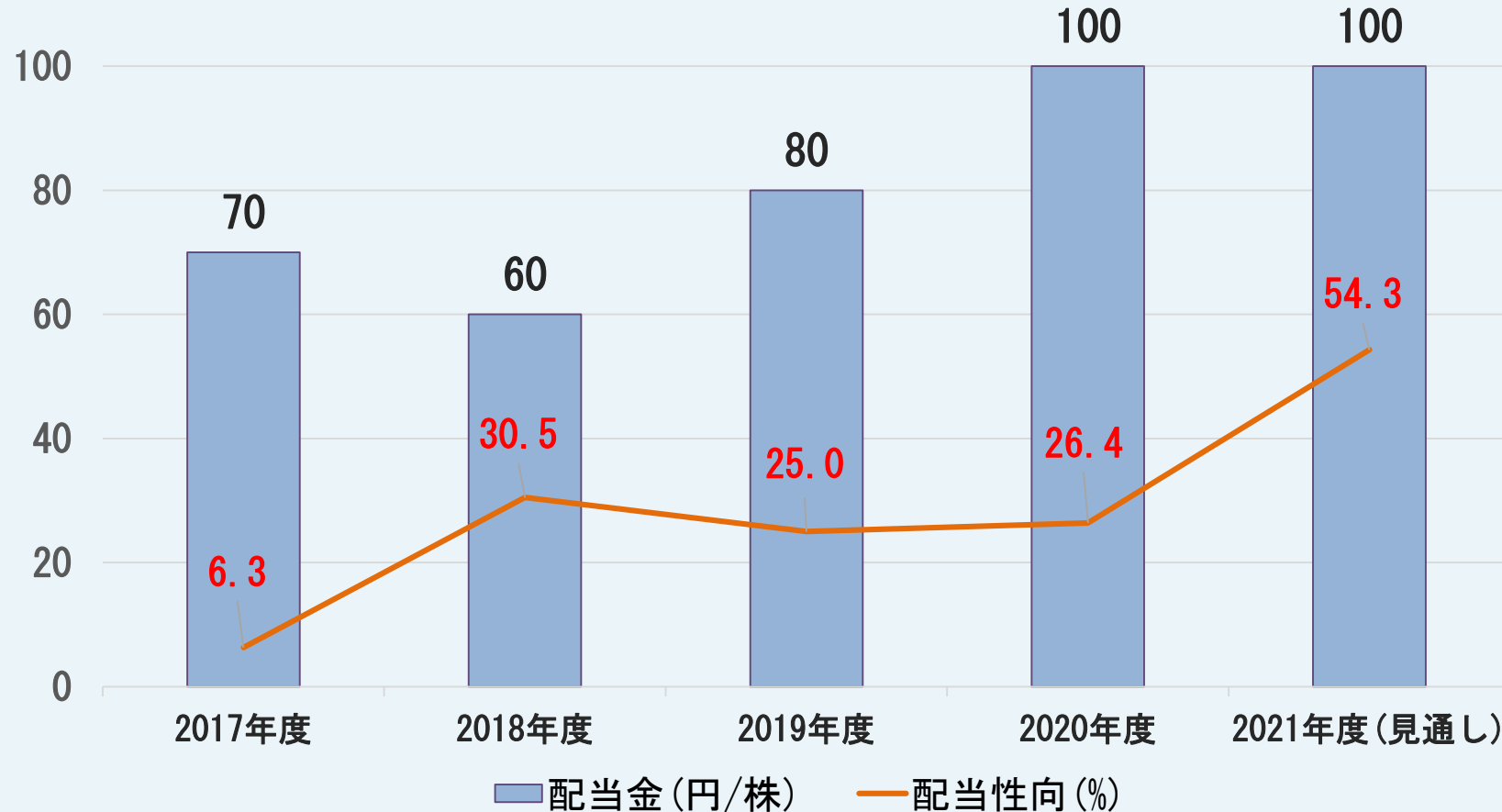
1.	会社概要	1
2.	2020年度トピックス	7
3.	2020年度決算概要	12
4.	中期経営計画進捗	19
5.	2021年度業績見通し	22
6.	事業成長戦略	27
7.	サステナビリティ推進	35
8.	ガバナンス強化	38
◆ 9.	配当政策	41

9 . 配当政策

配当は、株主の長期的かつ安定的な利益の確保と、会社業績の状況、将来的な事業展開に備えるための株主資本の充実などを総合的に勘案し、決定する方針

配当金・配当性向（2017年度～2021年度）

(単位：円)



ご清聴ありがとうございました。

【注意事項】

本資料には、当社に関する業績その他の予想、見通し、目標、計画その他の将来に関する事項が含まれています。これらの事項は、作成時点において入手可能な情報による当社の仮定、見積り、見通しその他の判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。したがって、その後のさまざまな要因により、予想・計画・目標等が記載どおりに実現しない可能性や、実際の業績、研究開発の成否・進捗その他の見通し等が記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。